ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2025/02/12 号(As of 2025/02/11)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	-
TKY 9:00AM	151.76	1.0301	156.30	1.2355	0.6270
SYD-NY High	152.61	1.0381	158.20	1.2455	0.6301
SYD-NY Low	151.65	1.0293	156.27	1.2333	0.6262
NY 5:00 PM	152.49	1.0361	157.97	1.2446	0.6295

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,593.65	123.24	日本2年債	-	-
NASDAQ	19,643.86	▲ 70.41	日本10年債	-	-
S&P	6,068.50	2.06	米国2年債	4.2886%	0.0117%
日経平均	-	-	米国5年債	4.3707%	0.0301%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.5363%	0.0365%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,100.00	135.00	独10年債	2.4270%	0.0670%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,777.39	9.59	英10年債	4.5065%	0.0515%
DAX	22,037.83	126.09	豪10年債	4.3840%	▲0.0110%
ﾊﾝｾﾝ指数	21,294.86	▲ 227.12	USDJPY 1M Vol	9.81%	▲0.40%
上海総合	3,318.06	▲ 4.11	USDJPY 3M Vol	10.20%	▲0.26%
NY金	2,932.60	▲ 1.80	USDJPY 6M Vol	9.99%	▲0.16%
WTI	73.32	1.00	USDJPY 1M 25RR	▲1.28%	Yen Call Over
CRB指数	313.43	1.42	EURJPY 3M Vol	10.72%	▲0.16%
ドルインデックス	107.96	▲ 0.36	EURJPY 6M Vol	10.50%	▲0.11%

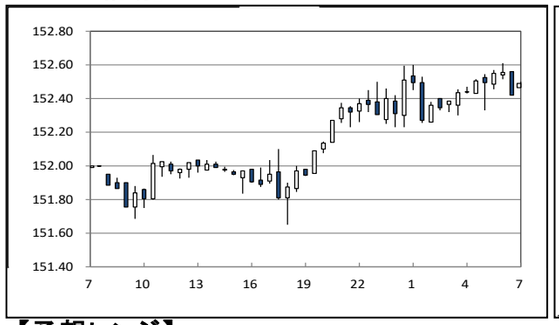
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
2月11日	01:00	米	NY連銀1年インフレ期待	1月	3.0%	3.1%
2月12日	00:00	米	パウエルFRB議長 講演	–	政策スタンスの調整を急ぐ必要はない	

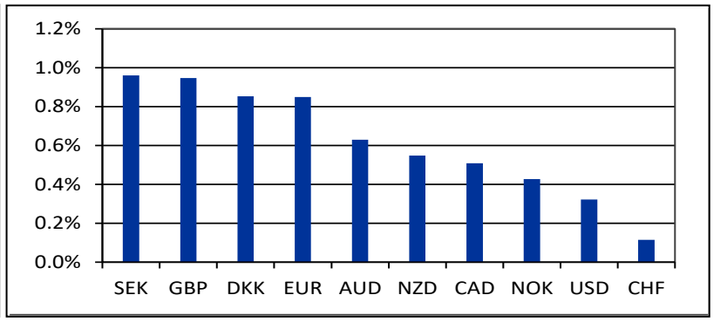
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
2月12日	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	1月	0.3%/2.9%	0.4%/2.9%
2月13日	00:00	米	パウエルFRB議長 講演	–	–	–
	02:00	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	–	–	–

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	ｱｼﾞｱ時間のﾄﾞﾙ円相場は151.76ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。早朝に「ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領が鉄鋼･ｱﾙﾐへの関税賦課の大統領令に署名」とのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝが流れるも、ﾏｰｹｯﾄは既に材料消化し小幅な値動き。東京市場が休場で特段追加のﾍｯﾄﾞﾗｲﾝもない中、その後は152円を挟んで小幅なﾚﾝｼﾞの中で推移し、151.97ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、151.97ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領の関税発言に警戒感を広げたか、一時ﾘｽｸｵﾌの円買いで151.65まで売られる。しかしその後上昇に転じ、結局152.39ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は152円台前半でｽﾀｰﾄ。ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領が発表した鉄鋼関税案の発表を受け、151.65までﾘｽｸｵﾌの円買いが進む場面もあったが、その後は欧州株高等に伴い円が売り戻され、152.39ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中に行われたﾊﾟｳｴﾙ議長の議会証言では「利下げを急ぐ必要性はない」との認識を示すと、米金利の上昇を背景に、152.61まで上昇。午後は新規材料乏しい中、152.50付近を挟んだ値動きが続き、152.49ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.03台前半でｽﾀｰﾄ。ﾌﾗﾝｽ政府30年債国債発行の発表を受け、独金利の上昇を横目にじり高で推移し、1.0322ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は独金利が上昇幅を拡大する動きに買いが加速し、1.0350付近まで上昇。午後もﾄﾞﾙ売りの流れが続き、1.0381まで上値を伸ばす。その後は小幅反落し、1.0361ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.70-153.30	1.0250-1.0400	157.00－159.00

【マーケット・インプレッション】

週明け月曜日のドル円は、トランプ氏による新たな関税報道を受けて152円半ばまで上昇するも、海外時間では売り戻され152.00付近で推移した。昨日は本邦休場の中、序盤はやや下落した後、152円を挟んで小幅に上下動した。海外時間には、トランプ氏が鉄鋼とアルミニウムに対する関税賦課を正式に発表したことで、やや円高に振れるも下落幅は限定的だった。その後は米金利上昇を横目に上昇し152円台半ばでクローズ。
パウエルFRB議長による議会証言が予想通りとなったこと等を受け、足許ドル売りの流れとなっているが、同時にリスクオフの円買いの動きも薄れていることから方向感の出にくい相場となっている。また本日は米CPI発表が予定されていることを踏まえると、引き続き方向感に欠ける展開を予想する。ただしCPIの結果次第では値動きが大きくなる可能性も想定されるため警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:林・西